

<報道発表資料>
(府、宗教同時)

令和8年6月26日
文化庁連携プラットフォーム
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

かんえいぎょうこう
寛永行幸四百年祭 寛永文化講座
「皇室と茶の湯」の開催

寛永行幸四百年祭実行委員会では、寛永行幸(※)が令和8年(2026年)に400年の節目を迎えるにあたり、寛永行幸の行事を再現し、寛永文化を振り返る記念祭「寛永行幸四百年祭」を実施しています。

この度、遠山記念館学芸課長の依田氏を講師に迎え、文化講座を令和8年8月2日(日)に開催します。

※ 寛永3年(1626年)、徳川幕府が後水尾天皇を二条城にお迎えし、9月6日から5日間に渡り様々なおもてなしが行われました。全国から大名が集い、9,000人に及ぶ行列が京都のまちを巡った様子は、人々に強烈な記憶を刻みました。「寛永行幸四百年祭」では、その行列の再現に取り組むほか、京都一円での展覧会や装束等を復元するプロジェクト、全国各地域との連携等、文化が社会を動かす力の可視化に取り組めます。

【開催概要】

- 日 時 令和8年8月2日(日) 午後2時～午後3時30分(開場：午後1時15分)
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル京都 2階平安の間
(〒604-0055 京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地)
- 講 師 依田 徹(遠山記念館学芸課長)

<依田徹氏 プロフィール>

1977年、山梨県生まれ。遠山記念館学芸課長。東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程修了。美術博士。専門は日本近代美術史、茶道史を専門とし、著書に「盆栽の誕生」(大修館書店、2014年)、「皇室と茶の湯」(淡交社、2019年)などがある。

- 内 容 寛永11年、後水尾上皇の住む仙洞御所で茶会が催されました。天正13年の秀吉による禁裏茶会、寛永3年の二条城行幸を経て、茶の湯は公家文化に入り込み、やがて宮中行事として組み込まれていきます。
本講演では、平安時代初頭の嵯峨天皇からの皇室と茶の湯の歴史を踏まえ、公家にとって茶とはどのようなものだったのかを考えます。
- 定 員 300名程度(先着順)
- 参加費 無料

- 申 込 以下の専用サイトからお申し込みください。
※二次元コードからもアクセスいただけます。
<https://kaneibunka20260802.peatix.com>
- 申込期間 令和8年6月27日（土）午前10時～8月1日（土）正午
※定員になり次第受付終了
- 運 営 主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）
共催：一般社団法人 Living History KYOTO
協力：ANA クラウンプラザホテル京都



（参考）

【寛永行幸四百年祭の今後の主な予定】

< 寛永行幸四百年祭記念式典・基調講演・能楽公演 >

9月5日（土） 基調講演 講師：熊倉功夫氏

9月6日（日） 能楽公演 出演：金剛龍謹（金剛流若宗家）

林喜右衛門（京観世林家）ほか

< 寛永行幸行列再現イベント >

12月6日（日）

【寛永行幸四百年祭実行委員会について】

行政、経済界、文化関係団体等で構成するオール京都の組織「文化庁連携プラットフォーム」内において、令和7年8月に立ち上げた「寛永行幸四百年祭」の実行組織。令和7年度は、各種の機運醸成事業を実施し、本番となる令和8年度は、行幸行列の再現イベントや、二条城での各種展示・企画等を実施する。

< 構成（令和8年6月現在） >

京都府、京都市、京都商工会議所、一般社団法人 京都経済同友会、元離宮二条城事務所、公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー、公益財団法人 京都文化財団、公益財団法人 京都市芸術文化協会、公益社団法人 京都府観光連盟、公益社団法人 京都市観光協会、株式会社 京都新聞 COM

< 本事業に関するお問合せ先 >

寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

メールアドレス：info@kaneigyoko400.jp

< 報道機関からのお問合せ先 >

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話番号：075-222-4200

メールアドレス：bunka@city.kyoto.lg.jp